

日 本 気 象 学 会

関 西 支 部 ニ ュ ー ス

【重要】関西支部ニュースのE-mail 配信に伴うE-mail アドレスの登録について

関西支部 2005 年度理事会・総会・年会の開催予定について

2005 年度秋季大会の準備状況について

関西支部ホームページ・アドレス及びE-mail アドレスの変更予定について

関西支部第 27 回夏季大学の予定について

関西支部 2005 年度例会開催募集

研究グループの新規募集

2005 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集

近畿地区理事の交代について

2004 年度関西支部例会・講演会開催の報告

関西支部第 26 期第 2・3 回常任理事会開催の報告

年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売について

バックナンバー情報

住所変更される方へのお願い

〒 540-0008

大阪市中央区大手前 4 丁目 1-76

大阪合同庁舎第四号館

大阪管区气象台内

日本気象学会関西支部

振替 00980-5-18318

TEL (06)6949-6323

FAX (06)6944-2121

ホームページ <http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/>

E-mail [msjknsi@ma.kcom.ne.jp](mailto:msjknsi@ma.kcom.ne.jp)

\*\*\*\*\*  
**【重要】関西支部ニュースのE-mail 配信に伴うE-mail アドレスの登録について**

関西支部常任理事会は逼迫した財政状態を立て直すため、支出の削減に取り組んでいます。取り組みの一つとして支部ニュースの印刷・郵送配布の見直しをはじめとしています。2004 年 8 月 10 日発行の関西支部ニュース第 247 号に「関西支部ニュースのホームページ利用による経費削減について」の記事を掲載して、2005 年度から関西支部ニュースはホームページに掲載することにして、印刷・郵送をやめることについてお知らせしました。また、希望する会員にはホームページ掲載のお知らせを E-mail で配信することにして、会員氏名・番号及び E-mail アドレスを関西支部事務局にお寄せいただきました。

その後多くの会員からそれでは大変不便との意見が寄せられました。このため、関西支部常任理事会では再検討をして、支部ニュース掲載のお知らせを基本的に支部内全会員に対して E-mail で配信する体制を早期に作り、2005 年度内に配信を開始することとしました。また、郵送の取りやめは 1 年延期して 2006 年度からとしました。

E-mail 配信には会員の皆様の E-mail アドレスの関西支部への登録が必要です。関西支部発行の各種媒体でお知らせしていますので、2005 年 6 月末までに会員氏名・番号及び E-mail アドレスを関西支部事務局に登録いただきますようお願いいたします。

登録先 〒540-0008 大阪市中央区大手前 4 - 1 - 76 大阪合同庁舎第四号館

大阪管区气象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部

E-mail : [msjknsi@ma.kcom.ne.jp](mailto:msjknsi@ma.kcom.ne.jp)

TEL : 06-6949-6321

FAX : 06-6944-2121

なお、関西支部ニュース第247号をご覧になり、既に登録いただいた方は、あらためて登録いただく必要はありません。また、会員の都合で配信を不要とする方も、登録の必要はありません。

### 関西支部 2005 年度理事会・総会・年会の開催予定について

2005 年度の関西支部理事会、総会および年会を以下のように開催する予定です。多数のご参加をお願いします。

日 時：6月11日（土）

場 所：大阪府立女性総合センター（ドーンセンター）

〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

最寄駅：JR 東西線大阪城北詰駅（2号出入口から西へ550m）

京阪・地下鉄谷町線天満橋駅

（1番出口から東へ350m）

電 話：06 - 6910 - 8500

URL：http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp

会 場：理事会 中会議室

総会・年会 大会議室



#### 【総会について】

##### 1. 総会提出議題

総会に提出したい議題があれば、4月22日（金）までに関西支部事務局までお知らせください。

##### 2. 総会委任状について

御存知のように総会成立に要する定数が通常会員数の「2分の1」以上という極めて厳しい条件に変わっています。つきましては、総会に出席される方も出席されない方も全員、郵送等で委任状を関西支部事務局に提出していただくようご協力願います。

なお、総会に出席された場合は、総会における意思表示が委任状よりも優先されます。

##### 3. 総会資料について

総会資料は委任状用紙とともに総会開催日までにお届けします。

#### 【年会について】

1. 発表申込締切日 4月22日（金）

2. 原稿締切日 5月20日（金）

3. 発表時間 1題につき概ね15分の予定です。

##### 4. 発表申し込みについて

申込先（例会・講演会担当：堀之内武幹事）

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学生存圏研究所 堀之内武 行き

E-mail アドレス msjknsi@ma.kcom.ne.jp

申込方法 下記の書式で、郵便または電子メール（締切日必着）で申し込んで下さい。FAX、電話での申し込みは受付けていません。なお、ビデオおよびスライドでの発表はできません。

要旨集用の原稿作成の際は「日本気象学会関西支部予稿集・要旨集原稿作成要領」に従って下さい。原稿作成要領は関西支部のホームページ（http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/regular/genko.html）でご覧になれます。ホームページをご覧になれない場合は、申込先にご請求ください。なお、所属は正式名称でお願いします。

要旨集用の原稿は発表申込先と同じ宛先に郵便でお送りください。

日本気象学会関西支部 2005 年度年会発表申込

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に\*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・使用機材(OHP、PCプロジェクター)：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL( ) FAX( )
- ・連絡先 E-mail アドレス：

【旅費の助成について】

支部活動の主要な部分を占める例会・年会について、その活性化を図るため、発表者(支部会員のみ)を対象に、下記の「例会・年会旅費助成要領」にもとづいて、旅費の助成を行っています。助成を希望される方は以下の要領でお申込ください。

申込先(山本二郎常任理事)

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-76 大阪合同庁舎第四号館

大阪管区気象台技術部気候・調査課内 日本気象学会関西支部 山本二郎 行き

E-mail: msjknsi@ma.kcom.ne.jp TEL: 06-6949-6321 FAX: 06-6944-2121

締切日 それぞれの年会・例会発表申込締切日

申込方法 次の書式で、郵便、FAXまたは電子メールで申し込んで下さい。

日本気象学会関西支部 2005 年度年会・例会旅費助成申込

年会または例会(例会の場合は地区名を含む)：

- ・発表題目：
- ・氏名(フリガナ)と所属(発表者に\*印・研究グループの場合はグループ名も)：
- ・旅費(片道)の見積もり：
- ・代表者氏名(連絡先)：
- ・連絡先住所：〒
- ・連絡先電話：TEL( ) FAX( )
- ・連絡先 E-mail アドレス：

例会・年会旅費助成要領

(目的)

1. 日本気象学会関西支部が開催する例会・年会で発表する会員への旅費の助成を目的とする。

(資格等)

2. 日本気象学会関西支部会員を対象とする。
3. 支給は例会・年会ともに1題の発表につき1名とする。また、助成総額の上限は、例会・年会ともにそれぞれ3万円とする。
4. 個々の支給は、原則として片道旅費が5千円を超えるものを対象とし、上限を1万円として片道旅費を助成する(千円未満は四捨五入)ただし、応募者が多い場合は減額されることがある。
5. 助成を受けた者は当該年度に限り応募できないものとする。

(手続き)

6. 助成希望者は、発表の申し込み時に、旅費の見積もりとともに事務局に申請するものとする。書式は支部ニュースで知らせる。
7. 常任理事会は助成者を決定するが、応募者が多い場合などには地区理事に調整を依頼する場合がある。

(義務等)

8. 助成を受けた者は、当該例会・年会で発表するものとする。

(雑則)

9. その他必要なことは常任理事会で協議し決定する。

(付則)

この要領は平成 13 年 6 月 23 日から施行する。

#### 2005 年度秋季大会の準備状況について

秋季大会は支部持ち回りで開催されており、2005 年度秋季大会は 2000 年度に担当して以来 5 年ぶりに関西支部が担当することになります。大会の実施機関として実行委員会が関西支部に設置され、その第 1 回の会合が 2 月 14 日(月)に大阪管区气象台で開催されました。第 1 回では組織、任務分担、日程、会場、予算、シンポジウムなどを審議し、次回は 4 月頃に開催することになりました。大会の概要は次のとおりです。

秋季大会の概要

日程 2005 年 11 月 20 日(日)～22(火)

会場 神戸大学六甲台キャンパス(神戸市灘区六甲台町 1-1)

#### 関西支部ホームページ・アドレス及び E-mail アドレスの変更予定について

現在の関西支部のホームページは KDDI の KCOM インターネットサービスを利用しています。この度 KDDI より連絡があり、同サービスは KDDI の都合により 2005 年 3 月 31 日をもって終了し、DION に集約されることになりました。このため、関西支部のホームページ・アドレス及び E-mail アドレスは 2005 年 3 月 31 日から変更になります。新しいアドレスはまだ決まっていますが、決まりましたらホームページや関西支部ニュースでお知らせします。

なお、3 月 31 日以降も 6 か月間は移行措置として旧アドレスにアクセスされても自動的に新アドレスにアクセスできるようにしています。4 月以降はできるだけ新しいアドレスによるアクセスをお願いすると共に、登録済みのアドレスにつきましても変更されるようお願いいたします。

#### 関西支部第 27 回夏季大学の予定について

第 27 回夏季大学実行委員会は高橋清和常任理事を委員長として準備を始めました。概要は次のとおりです。詳細については、今後の「支部ニュース」や「『天気』支部だより」でお知らせします。

テーマ：「台風」(予定)

日 時：7 月下旬または 8 月上旬(予定)

場 所：未定

#### 関西支部 2005 年度例会開催募集

2005 年度例会の開催および開催場所を下記細則により募集します。例会の開催を希望される会員は、各地区理事を通じて支部長宛申し込んでください。申込締切日は 4 月 22 日(金)です。

申込先(例会・講演会担当：山中大学常任理事)

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院自然科学研究科 地球惑星システム科学専攻 山中大学 行き

E-mail : msjknsi@ma.kcom.ne.jp

## 例会開催に関する細則

### (目的)

1. 気象学の研究を盛んにし、その進歩を図り、支部会員相互の情報交換等を図るために例会を開催する。

### (開催・開催場所)

2. 開催及び開催場所は、原則として、第3項の開催条件をもとに、第5項の募集により常任理事会において決定する。なお、各地区理事は各地区で少なくとも年1回以上例会を開催するよう努力するものとする。

### (開催条件)

3. 要望主体者側でテーマの選定、会場の確保を始めとする例会の運営をすべて行う。但し、必要な場合は、常任理事、地区理事の支援を求めることが出来る。

なお、講演の申込み受け、予稿集の作成、配布、学会員への周知(支部ニュース)は事務局で行い、運営経費として2万円を支部が負担する。

### (開催回数)

4. 開催総数は年に最高5回までとする。

### (要望手続き)

5. 開催、開催場所の要望については、毎年募集(支部ニュース)することとし、各地区理事を通じて支部長あてに申込むものとする。

6. 支部長は、前項の要望を受けたときは、常任理事会においてその是非を図り、結果を申込み者に通知するものとする。

## 研究グループの新規募集

2005年度の研究グループを下記の助成要領にもとづき募集します。申込締切日は4月22日(金)です。調査・研究に取り組むグループは、次の事項を明記して事務局まで申し込んでください。

1. 研究グループの名称
2. 研究代表者名・住所・連絡先
3. 研究の目的
4. グループに属する会員名とその所属

## 研究グループ助成要領

### 1. 目的

日本気象学会関西支部会員同士が共同して研究活動を行う機会を与えることにより、気象学の研究を盛んにし、併せて日本気象学会関西支部会員間の交流の活発化に寄与する。

### 2. 応募資格

- (1) 過半数が日本気象学会関西支部会員からなる3名以上のグループであること。
- (2) 異なった機関に属する会員で構成されていること。
- (3) 次のいずれかの方法で研究成果を公表できること。
  - ・日本気象学会大会で発表
  - ・日本気象学会関西支部年会・例会で発表
  - ・気象学会刊行物への投稿

### 3. 助成件数 年1件

### 4. 助成額と助成金の用途

- (1) 助成額は15万円以内とする。
- (2) 助成金は、消耗品費、旅費(例会等での発表にかかる旅費を含む)、通信費等にあて、備品購入にはあてない。

### 5. 募集

助成金受領グループの募集は、「支部ニュース」によって行う。

## 6. 助成金受領グループの決定

助成金受領グループは、常任理事会で選考し決定する。

## 7. 要領の改廃

この要領の改廃は、理事会で審議し決定する。

### 2005 年度関西支部調査研究奨励金受領候補者の募集

今回の募集は2004 年度に奨励金授与者がなかったので2005 年度も募集するものです。受領者は会員の推薦に基づいて常任理事会で選考され、6 万円の奨励金が授与されます。関西支部に所属する会員で、調査・研究を精力的に行っている人や学校教育を通じて気象学の知識普及に努力されている人などで、研究環境にあまり恵まれていない人を推薦していただくようお願いします。なお、締切日は4月22日(金)です。

推薦はA4判用紙に以下の事項を記入のうえ事務局まで送付してください。

1. 受領候補者の氏名、印、生年月日、勤務先及び連絡先(住所と電話番号)
2. 研究題目、内容
3. 受領候補者の略歴
4. 推薦者の氏名、印、勤務先及び連絡先

### 近畿地区理事の交代について

2004年10月1日(金)付けで、友村光秀近畿地区理事(日本気象協会)より辞任の申し出があり、2004年12月20日(月)開催の第26期第2回常任理事会で解任が議決されました。友村光秀近畿地区理事は、2002年4月に就任されてから2年半に渡り関西支部活動に従事されました。長期間に渡るご奮闘に感謝申し上げます。後任には同日の常任理事会の議を経まして支部長推薦として中垣壽会員(日本気象協会)にお願いすることになりました。中垣壽新理事は、2005年度総会で選任されるまでの間、役員に準じて職務を行うこととなります。また、任期は、前任者の残り期間となっています。

### 2004 年度関西支部例会・講演会開催の報告

#### 第1回例会(中国地区、岡山大学で開催)

日本気象学会関西支部2004年度第1回例会(中国地区)が、2004年11月6日(土)に、岡山大学教育学部講義棟1階の5101教室にて開催された。

今回は、通常の一般発表や特別講演だけでなく、地元の教育現場との連携と気象学の底辺拡大への試みの一つとして(今回は初めての試みで、一部の方にお声をかけたのみであったが)、特別講演直前に30分ぐらいの時間を取り、中学生からの質問に例会参加者が答えるという「特別企画」を組んだ。当初は中高生にパネル発表を募集しようかとも考えて地元の学校関係者とコンタクトを取ったりしたが、最終的に調整がつかず、中学生からの質問に会場の参加者が答えるという企画に落ち着いた。特別企画には、一般発表の時間帯への参加者に、岡山大学教育学部附属中学校、岡山市立福田中学校、同京山中学校などの生徒さん計16名と先生計2名が加わった。彼らは大変熱心に、専門家も答えに窮するような鋭い質問も行なうなど、打ち解けた雰囲気の中で心地よい緊張を感じるひとときであった。なお参加した中学生にはそのまま特別講演を聴講してもらい、更に活発に質問を行なった。今後、彼らの中からも気象学への道を歩むものが出てくることを切望してやまない。

さて一般発表には、岡山大学、岡山理科大学、香川大学、県立広島女子大学、広島大学、岡山地方気象台、広島地方気象台、鳥取地方気象台、等から計59名の参加者があった。関西支部中国地区理事で会場運営も担当した加藤による開会の挨拶や諸連絡に引き続き、岩田徹会員(岡山大学環境理工学部)、山下栄次会員(岡山理科大学)、塚本修会員(岡山大学理学部)に座長をお願いして研究発表が行なわれた。「特別企画」及び特別講演の司会は加藤(岡山大学

教育学部)が行なった。発表内容は、都市気象、広島風、三好盆地の霧、中国地方の山谷風と降水、等の局地気象、水田や海上と大気との間の二酸化炭素の交換過程、梅雨前線と降水、中国の乾燥地域・梅雨前線と水循環、黄砂発生環境、等、多岐にわたった。従って、午前中から開催したものの一般発表が全部で20件と多く、一般発表は質疑も入れて14分と短い発表時間となった。活発な質疑のため若干進行が遅れてしまったが、その分 充実した討論となった。

特別講演は、東京大学気候システム研究センターの木本昌秀教授により、「地球温暖化と日本の天候」という内容で行なわれた。「『異常』気象は気候の自然なリズムの一部」というお話から始まり、地球温暖化の現状や予測、それに関連した日本の天候の予測に関するシミュレーション結果を紹介しながら、分かりやすく印象深く話しておられた。

例会終了後、場所を岡山大学生協の「ピーチユニオン」に移して懇親会が行われた。懇親会は、関西支部中国地区理事の鈴木康夫会員(広島地方気象台長)による挨拶と乾杯の音頭を口火に盛会となり、例会の熱い雰囲気を受けて更に個別に交流や討論等を行ない、親睦を深め合った。

最後になりましたが、本例会の開催にあたり、様々な関係者の皆様に多大なるご支援とご協力を頂きました。ここに改めて深く感謝の意を表したいと思います。また、今回の支部例会が、地元の学校現場等との連携を深め気象学の底辺を拡大していくための、小さな踏み台にもなればと願っています。

(岡山大学教育学部理科教室 加藤内蔵進)

### 第2回例会(四国地区、香川大学で開催)

日本気象学会関西支部第2回例会が2004年11月26日(金)に、四国地区例会として香川大学教育学部第4会議室で開催された。

例会は、岡山大学、香川大学、高知大学、京都産業大学、岡山市、徳島地方気象台、高松地方気象台、高知地方気象台等から約50名の参加者で会場がほぼ埋め尽くされた中、羽原健司会員(高松地方気象台)の司会により定刻に開始された。最初に、角田四国地区理事(高松地方気象台長)の挨拶があり、続いて前半を加藤座長(岡山大学助教授)、後半は山口座長(高松地方気象台観測予報課長)の進行によって研究発表が行われた。発表演題として11題が登録されていたが、発表予定者の一人に急用が生じ当日の発表を辞退されたため、発表演題は10題となった。発表内容は、大気境界層内における気温の日変化、局地的強風の数値シミュレーション等局地的現象を対象としたもの、海面乱流フラックスに関する研究、今年の四国における台風災害に関連した研究、及び、大雨をもたらす対流雲に関する研究など多岐にわたるものであった。

研究発表の後、大野久雄氏(気象庁気象研究所)による特別講演「激しいメソスケール現象について」が行われた。メソスケール現象の発生条件や構造、現象検出の着眼点、調査方法等について、実際に観測されたメソスケール現象を用い動画やビデオを駆使されたわかり易い講演であり、参加者一同理解を深めると共に、今後の調査研究上大変有用な講演であった。

例会の最後に、千葉修高知大学教授から、「今年は四国への台風上陸、襲来が多く大きな災害が発生した一方、貴重な調査・研究の題材も与えられた。例会では台風関連調査・研究が多くあり興味深いものであった。ただ、気象台に対しては、日々気象に接していることから多くの研究材料が身近に転がっていると思うので更に多くの調査発表を期待する。また、例会を準備しお世話いただいた香川大学及び気象台の関係者に深く感謝する。」旨の挨拶があり成功裏に例会を終了した。

例会終了後、大学生協に場所を移し懇親会が行われた。懇親会参加者は例会で言い足りなかったことや感想を述べ合い、学会の更なる発展を誓い合った。

本例会の開催にあたり、関係者の皆様から多大なご支援とご協力を頂いた。ここに改めて厚くお礼申し上げます。

(高松地方気象台 角田豊吉)

### 第3回例会(近畿地区、神戸大学瀧川記念学术交流会館で開催)

第3回例会は例年どおり海洋気象学会第2回例会と共催で、2005年2月22日(火)、神戸大学瀧川記念学术交流会館2階大会議室で開催された。例会には、地元神戸大学をはじめとする大学関係者、気象台関係者など42名の参加者があった。

内野海洋気象学会理事長の開会の挨拶の後、例会は岩山隆寛(神戸大学)、大澤輝夫(神戸大学)、関根義彦(三

重大学)の各会員が各セッションの座長を務めて進められた。全部で16題の発表があった。第1セッションは主に観測関係で、海洋鉄塔の風速鉛直プロファイル、合成開口レーダによる海上風の推定、紀伊半島沖地震の前兆現象、淀川河口の一酸化炭素濃度、伊勢湾内の船舶拡散の5題の発表があった。午後の第2セッションは気象及び黒潮関係で、晴天時の大気境界層内の風変化、六甲周辺の局地循環、2004年8月1~2日の四国豪雨、最近発生した黒潮大蛇行、黒潮流路の数値実験、黒潮流路変動の力学の6題、休憩を挟んだ第3セッションは気候及び流体力学関係で、エクマンパンプの理論的研究、大気大循環の変化、エルニーニョと日本への影響、彼岸潮、衛星海色プロダクトの検証の5題であった。発表題数が多く発表時間は質疑も含めて15分程度と短かったが、多くのコメントや意見があり活発であった。気象学会・海洋気象学会共催という本例会が気象学と海洋学の接点として、両者の交流が一層深まっていることが感じられた。

特別講演は、京都大学防災研究所教授の植田洋匡氏による「人・自然・地球共生の試み」と題して行なわれた。植田洋匡教授はこの3月で京都大学防災研究所を定年で退官されるということで、任官されてから今日に至るまでの取り組んでこられた多くの研究についてその成果、課題、今後の展望についてお話いただいた。内容を少し紹介しますと、「21世紀は環境の世紀」をキーワードに乱流の流体力学から、環境現象における気象・環境学的研究や国立公害研究所の大気拡散風洞を用いた実験での乱流拡散機構の研究に至る過程、その後の大気環境問題に関連した素過程の研究での熱的に励起される局地風や汚染物質の輸送に係わる各種プロジェクトの推進、特に最近「新世紀重点研究創生プラン(RR2000)」による砂漠緑化に関する広域水循環対策や予測についての研究を披露いただき、研究者にとって大変貴重で内容の濃い講演であった。

山中大学関西支部常任理事の閉会の辞により例会が終了した後、会館1階の食堂で懇親会が開かれ、例会に引き続き学際的交流を深めた。

最後に、特別講演をお引き受けいただいた植田洋匡教授(京都大学防災研究所)、例会会場の設営・例会運営にあられた主催者の神戸大学大学院自然科学研究科のスタッフ・学生の皆さん、ならびに海洋気象学会関係各位に厚く感謝します。

(大阪管区気象台 山本二郎)

#### 関西支部第26期第2・3回常任理事会開催の報告

第26期第2回常任理事会は2004年12月20日(月)に開催され、以下の議題について討議、報告を行いました。

近畿地区理事の交代について	2005年秋季大会の準備について
関西支部ニュースのホームページ利用による経費削減について	
関西支部奨励金規定の改定について	2005年度夏季大学の予定について
ホームページの契約変更について	報告事項(中国地区例会、四国地区例会)

第26期第3回常任理事会は2005年2月14日(月)に開催され、以下の議題について討議、報告を行いました。

2005年度秋季大会第1回実行委員会の開催について	
関西支部ニュースのホームページ利用による経費削減について	
ホームページの契約変更について	2005年度夏季大学の予定について
関西支部ニュース248号の予定記事について	

なお、議事の詳細については関西支部のホームページにある「関西支部常任理事会議事録のページ([http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/meeting/meeting\\_log.html](http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/meeting/meeting_log.html))」を御覧ください。

#### 年会講演予稿集・例会講演要旨集の販売について

2005年度に関西支部が発行する刊行物の購入には年間購読予約が便利でお得です。年会購読予約をされると、本代が2割引(通常1冊600円のところ480円)となるほか、発行のたびに速やかにお手元にお届けしますので、どうぞご利用ください。申込締切日は4月22日(金)です。



